

## 9月1日：VN 指数は小幅に4日続伸

投資家は休み前に利益を確定させる傾向があり、以前の連休前は下落するか、ほぼ横ばいの動きとなった。今回は前日までに3日続伸しており、連休前最終日も上昇した。

「投資家心理はかなり楽観的で、マーケットは短期的な上昇基調にある」（アナリスト）

ホーチミン市場のVN 指数は1,334.65ポイントで、一方ハノイ市場のHNX 指数は343.42ポイントで取引を終えた。

木曜日と金曜日、マーケットは休場だった。

週間でVN 指数が+1.63%、HNX 指数が+1.36%と共に上昇した。

一日当たりの平均売買高はホーチミン市場で約6億8,000万株（前週比+15.55%）、ハノイ市場で約1億3,800万株（前週比1.14%増）となった。

先週のマーケットでは、出来高の増加と安定な上昇基調が光った。

しかし、外国人投資家は月間を通して売り越した。先週、両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で合わせて1兆1,400億ドン（5020万米ドル）以上を売り越した。そのうちホーチミン市場で1兆2,000億ドンを売り越し、ハノイ市場では570億ドンを買越し越した。

「VN 指数は1,280ポイントをつけた後、短期的な下値支持線、現在の投資家の楽観主義が意識され、再び回復した」（ベトコムバンク証券（VCBS））

取引時間中には短期的な売りが見られた。しかし下落基調は長く続かず、指数はすぐに反発した。マーケットへの資金流入は徐々に回復し、上昇トレンドを引っ張った。

「投資家は銀行、石油ガス関連株といったマーケットの動向に影響を与える銘柄に注目するのが良い。特に第3四半期、今年残りの業績に前向きな見通しを示している企業に注目をすべきだ」（証券会社）

長期投資家は、この時期は信用取引を控え、慎重な銘柄選別を行う必要がある。1350ポイント付近に近づくとつれ、VN指数は上げ幅を縮めた。

「先週VN指数は1,298~1,300ポイントの安値から大きく回復した。直近の取引で出来高は大きく増加し、同指数は下値支持線をつけ、とても堅調な値動きとなった」

(Funan証券)

しかし連休前の9月1日、利益確定売りに押され上昇の勢いは落ちた。

テクニカル分析では、VN指数は短期的に上昇し、1,350~1,360ポイントの上値抵抗線へ向かっている。しかし以前の高値である1,375ポイントを回復するにはまだ時間がかかるだろう。

新型コロナは感染拡大が続いており、コロナ下で株式市場に新規参入した個人投資家の資金流入は続くだろう。投資家はこの小さな押し目でポートフォリオの3~5割を短期的な売買で生かすことができる。

「投資家はしばらくマーケットの動きに慎重になるのが良い。特に第3四半期の決算発表前にだ」(同証券会社の専門家)

同じように前向きな見通しを紹介すると「テクニカル分析では、VN指数は水曜日の取引で1335ポイント付近の強力な上値抵抗線に少し近づいた。短期的に上昇トレンドが続く可能性をあることが、このテクニカル分析から読み取れる」(BOS証券のアナリスト)

さらに、資金流入が回復していることもマーケットの上昇に追い風となった。しかし短期的な上昇トレンドの可能性を確認する前に、週明けの取引でVN指数が変動するかもしれない。

「投資家は現在のポートフォリオを維持し、下落時にポジションを増やすことができる」(同証券会社)

先週、ベトナムゴム工業グループ(GVR)、ホアファットグループ(HPG)、ベトコムバンク(VCB)は株式市場の上昇を牽引した。その一方でビンググループ(VIC)、マサングループ(MSN)はマーケットの重しとなった。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。